

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|----------------------------|-------------------|--|-------|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|------------|-----------|-----------|
| 科目区分 | 専門教育科目 | 科目名 | 特別な教育的ニーズの理解とその支援 | | 科目コード | 20Y480 | 担当者 | 島田 幸一郎 | | | |
| 対象学生 | 幼児教育学科 2年生 | 学期区分 | 通年 | | 単位数 | 2 | 担当形態 | 単独 | | | |
| | | 授業区分 | 演習 | | | | | | | | |
| 科目 | | 施行規則に定める科目区分又は事項等 | | | | 卒業要件 | 必修 | | | | |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | | | 免許・資格要件 | 幼稚園教諭必修、保育士必修 | | | | |
| 科目の主題 | | | | | | 学修成果との関連（大◎、中○、小△） | | | | | |
| 特別の支援の必要性や教育・保育的ニーズのある子どもが、生きる力を身に付けていけるよう、学習上または生活上の困難を理解し、個別の教育・保育的ニーズに対して、関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。 | | | | | | 1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力 | 2. 「創造」 高度な知性と 創造力 | 3. 「実践」 明確な意思と 実践力 | | | |
| 科目の到達目標 | | | | | | ① 誠実性・真摯性 | ② 多様性・協働性 | ③ 知識・技能 | ④ 表現力・創造断力 | ⑤ 実行力・自立性 | ⑥ 就業力・貢献力 |
| 1. | 特別の支援を必要とする子どもの心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解する。 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 2. | 障がいのある子どもの学習上または生活上の困難について基礎的な知識を身に付ける。 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 3. | 特別の支援を必要とする子どもに対する支援の方法について例示することができる。 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 4. | 個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解する。 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 5. | 特別の教育的ニーズのある子どもの支援において、関係機関との連携の必要性を理解する。 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 授業方法 | | | | | | 成績評価の方法と割合 | | | | | |
| 講義を基本とするが、障がい及び特別の支援を必要とする子どもの理解に関しては、映像の視聴等を通して具体的な理解に努めたい。また、援助や指導の方法についても、映像の活用やグループ協議等を通してより実践的な構成としたい。 | | | | | | 定期試験（70%） 提出物（20%） 受講態度（10%） | | | | | |
| 課題等への対応 | | | | | | 授業外学修時間 | | | | | |
| 毎時、プリントを提出させ内容を評価し返却する。評価の概要については、次授業の冒頭に総合的に行き重点事項については説明を加える。 | | | | | | 授業前後に1時間程度。特に授業前には教科書を熟読しておく。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画 | | | | | 学習課題（予習・復習） | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション | | | | | 障がいについての予習・復習 | | | | | |
| 第2回 | 特別の支援を必要とする子どもの理解 | | | | | 自己の障がい観についてレポートにまとめる | | | | | |
| 第3回 | 障がい児教育・保育の理念と形態、現状と課題 | | | | | 障がい児教育・保育についての予習・復習 | | | | | |
| 第4回 | 障がい児教育・保育の歩み | | | | | インクルーシブ教育・保育についてレポートにまとめる | | | | | |
| 第5回 | 発達の理解 | | | | | 子どもの発達についての予習・復習 | | | | | |
| 第6回 | 障がいの原因的理解 | | | | | 先天性障がいについての予習・復習 | | | | | |
| 第7回 | 障がいの理解（自閉症スペクトラム） | | | | | ASD児のかかり方についてレポートにまとめる | | | | | |
| 第8回 | 障がいの理解（ADHD、LD） | | | | | ADHD児・LD児のかかり方についてレポートにまとめる | | | | | |
| 第9回 | 障がいの理解（知的障がいⅠ） | | | | | 知的障がい児についての予習・復習 | | | | | |
| 第10回 | 障がいの理解（知的障がいⅡ） | | | | | 知的障がい児のかかり方についてレポートにまとめる | | | | | |
| 第11回 | 障がいの理解（身体障がい） | | | | | 身体障がい児についての予習・復習 | | | | | |
| 第12回 | 障がいの理解（コミュニケーション障がい） | | | | | コミュニケーション障がい児についての予習・復習 | | | | | |
| 第13回 | 障がいの理解（脳性まひ） | | | | | 脳性まひ児についての予習・復習 | | | | | |
| 第14回 | 気になる子どもの理解Ⅰ | | | | | 気になる子どもについての予習・復習 | | | | | |
| 第15回 | 気になる子どもの理解Ⅱ | | | | | 気になる子どものかかり方についてレポートにまとめる | | | | | |
| 第16回 | 障がいの理解（視覚障がい） | | | | | 視覚障がい児についての予習・復習 | | | | | |
| 第17回 | 障がいの理解（聴覚障がい） | | | | | 聴覚障がい児についての予習・復習 | | | | | |
| 第18回 | 障がいの理解（てんかん） | | | | | てんかんのある子どもについての予習・復習 | | | | | |
| 第19回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の方法Ⅰ | | | | | 障がい児の教育・保育についての予習・復習 | | | | | |
| 第20回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の方法Ⅱ | | | | | 障がい児の教育・保育についての予習・復習 | | | | | |
| 第21回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の方法Ⅲ | | | | | 非認知能力についてレポートにまとめる | | | | | |
| 第22回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の計画Ⅰ | | | | | 障がい児の教育・保育計画についての予習・復習 | | | | | |

| | | |
|------|--|---|
| 第23回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の計画Ⅱ | 気になる子どもの教育・保育計画についての予習・復習 |
| 第24回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の計画Ⅲ | 障がい児の個別指導計画を作成する |
| 第25回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の実践と評価Ⅰ | 障がい児の教育・保育の実践の予習・復習 |
| 第26回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の実践と評価Ⅱ | 障がい児の教育・保育の評価の予習・復習 |
| 第27回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の実践と評価Ⅲ | 障がい児の教育・保育の実践と評価についてレポートにまとめる |
| 第28回 | 特別の支援を必要とする子どもの保護者支援Ⅰ | 障がい児の保護者支援についての予習・復習 |
| 第29回 | 特別の支援を必要とする子どもの保護者支援Ⅱ | 障がい児の保護者支援についてレポートにまとめる |
| 第30回 | 特別の支援を必要とする子どもの教育・保育の意義（まとめ） | インクルーシブ教育・保育の意義についてレポートにまとめる |
| 試験 | 定期試験を実施する | |
| 教科書 | 『新・障害のある子どもの保育』（伊藤健次編 みらい） | <p>受講生へのメッセージ</p> <p>インクルーシブ教育・保育の進展に伴い、特別の支援を必要とする子どもへの支援・指導の充実が求められています。障がいについての基本的理解や技能を身に付けると共に、対象の子どもの実態を的確に把握し、教育・保育ニーズに沿った支援、指導を保護者や関係機関と連携しながら計画的に行っていくことが大切です。意欲的に学び、「一人ひとりを大事にする」信頼される保育者を目指してください。</p> |
| 参考書等 | 『幼稚園教育要領』 『保育所保育指針』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 | |